

スポーツパーソンシップ勉強会

一般社団法人

スポーツメディカルコンプライアンス協会



団体紹介

一般社団法人

スポーツメディカルコンプライアンス協会

**指導者にメディカルとコンプライアンスを理解してもらい
健全安全に子供たちがスポーツを楽しめる環境を創りたい！**

それを実現するために

- 講演/セミナー活動
- 医学的側面によりケガ防止に対するプログラムの構築
- スポーツにおける現状の調査、公示
- **ベストコーチングアワードの企画/運営**

ベストコーチングアワードを主催





メデイカル・コンプライアンスを
理解し指導されているチームを表彰。

プロ野球PRESS > BACK NUMBER

館山昌平「野球は遊びの延長だった」小中学生の怪我のリスクを考える。



70以上のメディアに取り上げていただきました。

カキの缶々焼き、大きなカキフライなど、取り寄せたい旬の味 Yahoo!

YAHOO! ニュース IDでもっと便利に新規取得
 JAPAN ログイン ZOZOTOWN さらに10%相当戻ってくる

キーワードを入力

トップ 速報 映像 個人 特集 意識調査 ランキング

主要 国内 国際 経済 エンタメ **スポーツ** IT 科学 ライフ

「野球の危機」を救う新しい表彰 実は競技人口は10年で4割減

2019年12月15日、東京都内で少年野球チームを表彰する式典が行われた。この式典には、全国的に知られた埼玉ビッグボーイズの出身だ

「エニタイムフィットネスPresentsベストコーチングアワード2019」という賞だ。その名の通り、コーチを表彰するアワードだが、選出されたのは、全国大会で優勝したチームや、優秀な選手を輩出したチームの指導者ではない。

日々の野球指導を行う上で、古い習慣にとらわれることなく、子供たちの未来を考えて、心身の健康面に配慮した指導を実践している指導者を表彰するというものだ。

「高野連の週500球制限は“意味がない”」運動外科の権威が警鐘！ 手術10回…館山昌平氏も故障予防訴え (1/2ページ)

2019.12.16 印刷 コメント 2件

今季限りでヤクルトから現役引退し、来季は楽天の2軍投手コーチに就任する館山昌平氏（38）が15日、東京都内のパネルディスカッションで、若年層に多発する肩肘の故障について提言した。

足かけ18年間で10度。日大3年時に初めて右肘を手術し、さらに今年9月の現役引退後にも右肘にメスを入れた。

「自分はプロで勝つために変則的な投げ方にして、限界を超えて腕を振っていたというのが故障の原因なので、一線を引いてもらいたいのはあるんですが、10代の頃は酷使されることもなく故障とは全く無縁でした」

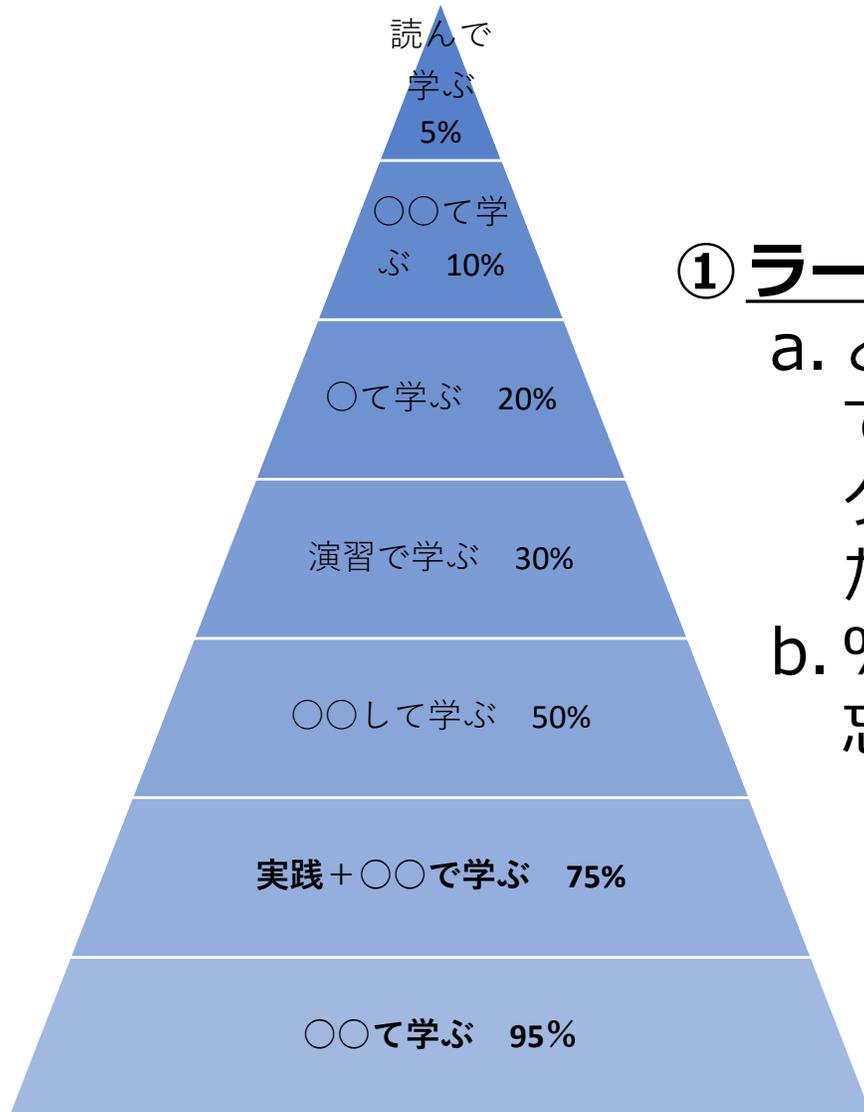
若年層のケガ予防について話す館山昌平氏

助成金が受給できるか

故障予防に積極的に取り組む学童野球、中学野球チームを評価し、表彰する

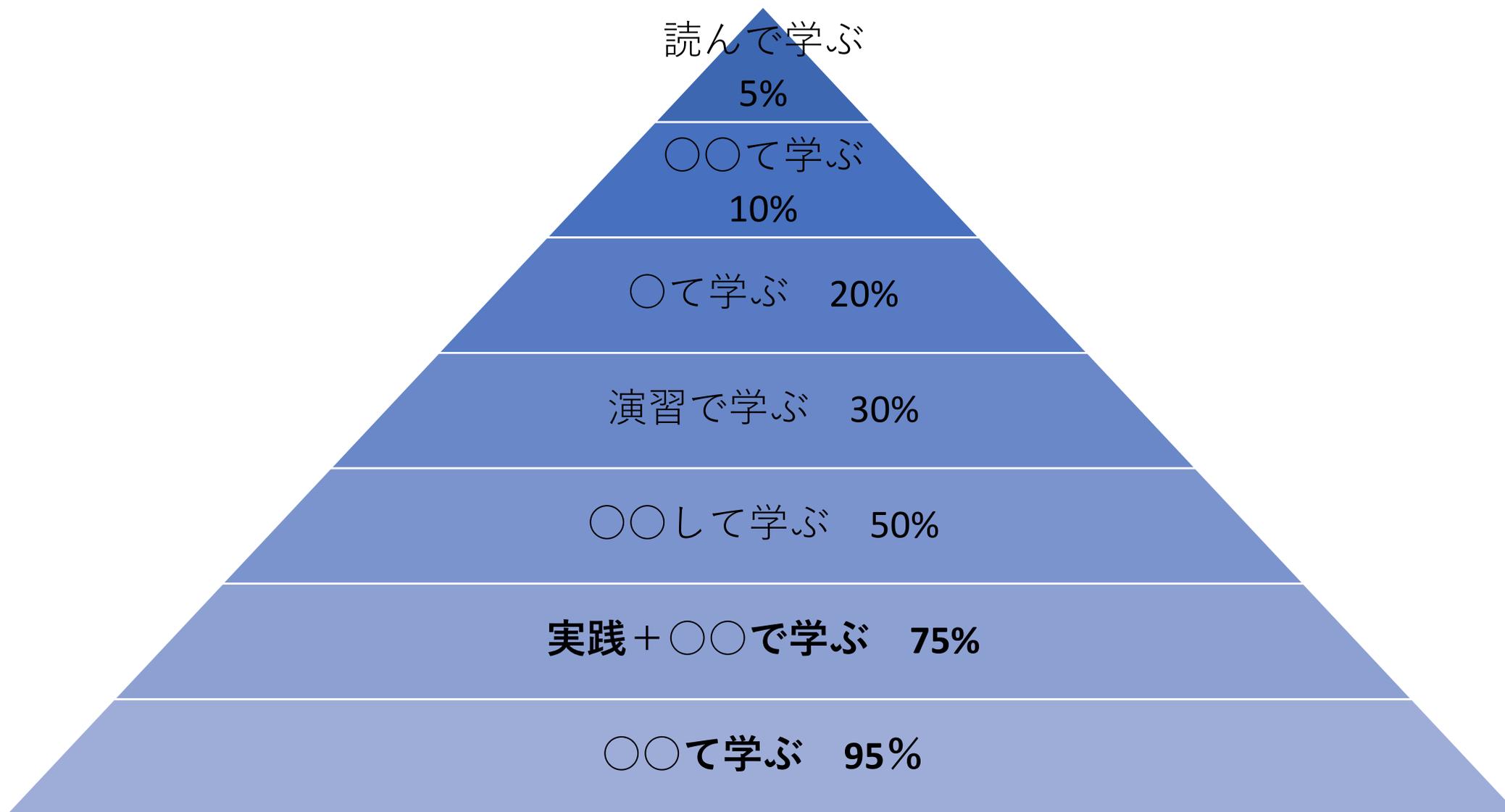
ウォーミングアップ

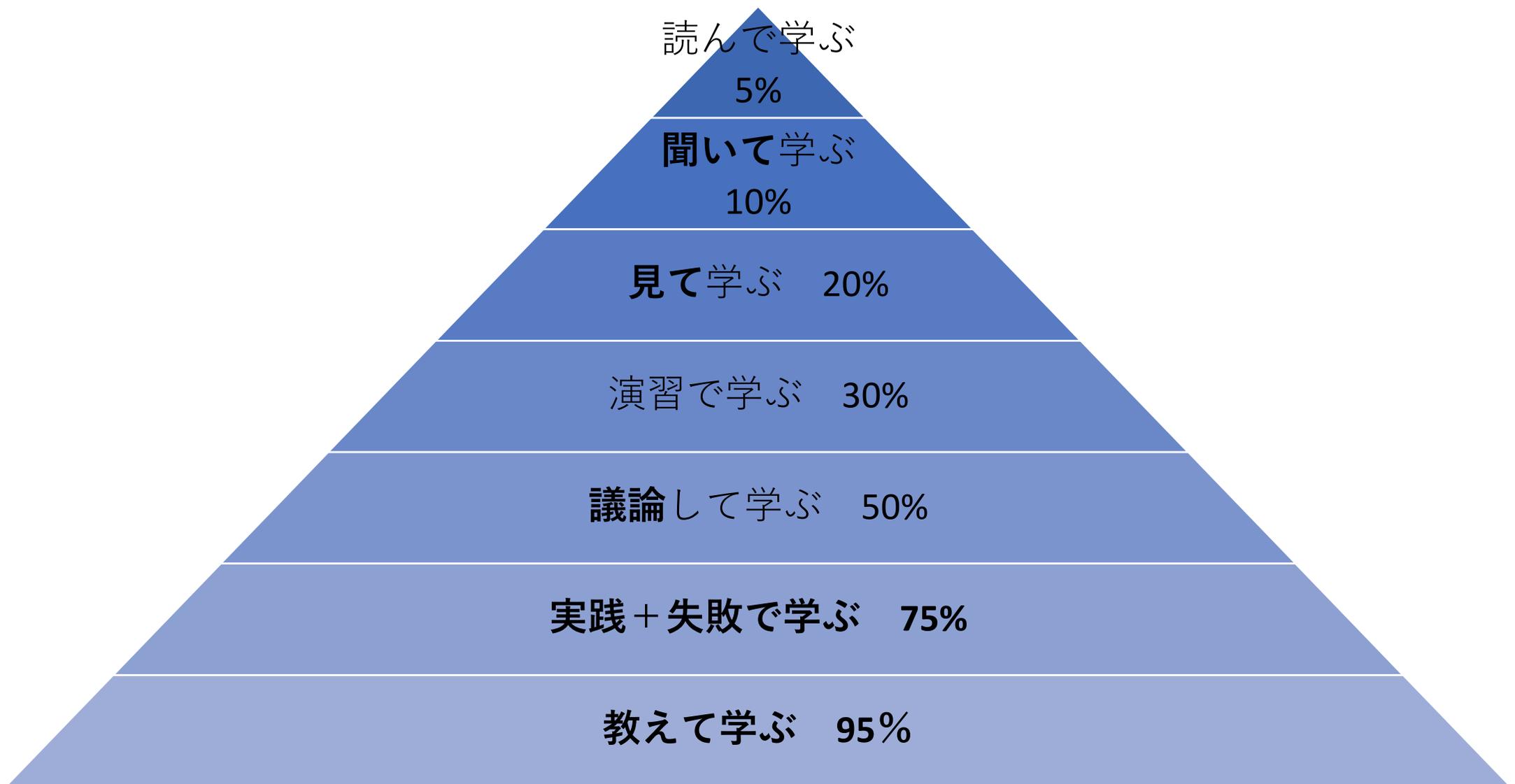
ラーニングピラミッドワーク



① ラーニングピラミッドの説明

- どうすれば人は最も成長できるのか？学習できるのか？を研究している、インストラクショナルデザインという学問で発表された、学びについてのピラミッド(左図)
- %の数字は平均学習定着率というもので、忘れずに能力として定着する率を指す。





読んで学ぶ

5%

聞いて学ぶ

10%

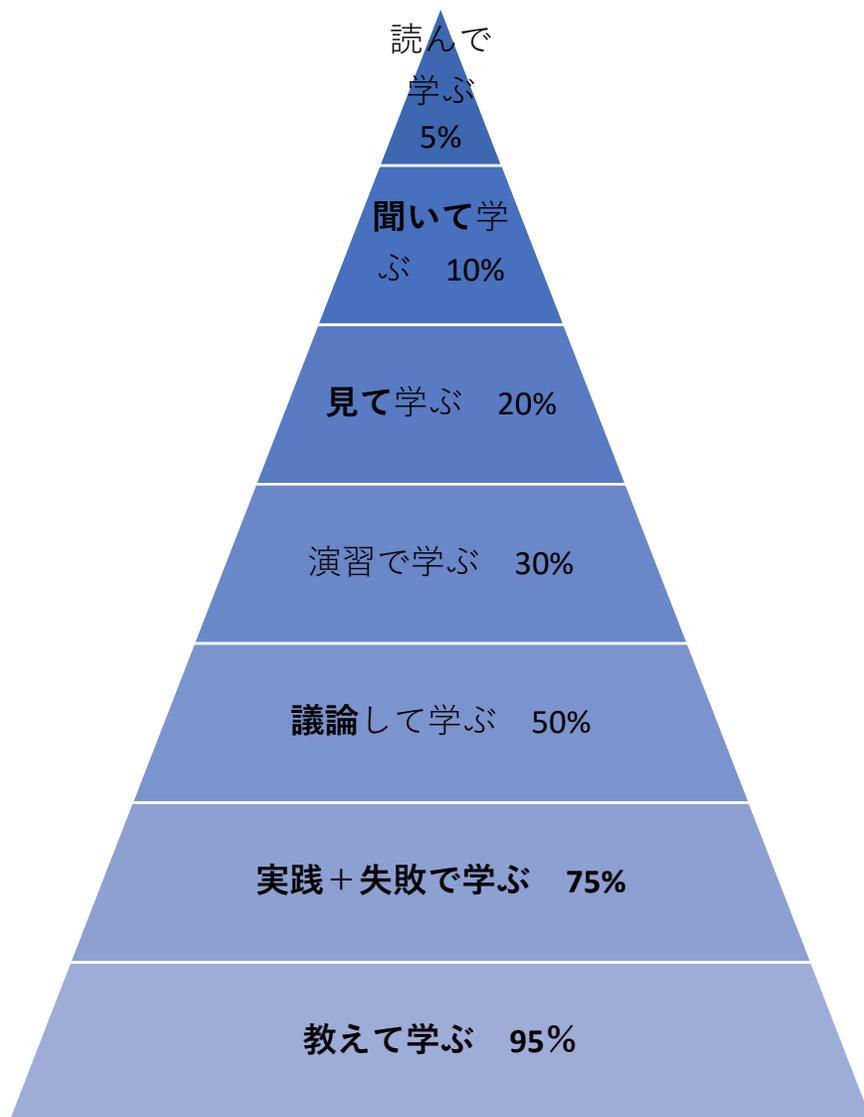
見て学ぶ 20%

演習で学ぶ 30%

議論して学ぶ 50%

実践 + 失敗で学ぶ 75%

教えて学ぶ 95%



教えること 失敗すること

の2つが人間を最も成長させる方法。
たくさんの良い失敗をすること、
他者に教えることで**誰よりも成長
するのは本人。**

スポーツとは？

そもそも・・・

スポーツとは何か？

スポーツという言葉の語源は・・・？

Deportare

(ラテン語)



フランス語ではdesport

英語ではdisport



省略して

Sporte or sport



スポーツが世界共通語に！

意味

運搬するという意味
そこから転じて
日々の生活から離れる
気晴らし
楽しむ・遊ぶ

disもportも（港・持ち運ぶ）
基本的に「**離れる**」というという意味。
日常生活の労働から離れることを意味する。

本質は変わらない

日々の生活から離れる
気晴らし
楽しむ・遊ぶ

日本の文献では

明治時代に外国人教師として政府に呼ばれ語学や欧米の学問を教える傍ら生活様式も日本に持ち込んだ。

その一つが余暇の活用であり、趣味としてのスポーツだった。



釣りや乗馬をしていた外国人が「**スポーツ**をしている」と言ったことからそう書かれたと言われている。

スポーツとは

辞書には

「楽しみを求めたり、勝敗を競ったりする目的で行われる身体運動の総称。陸上競技・水上競技・球技・格闘技などの競技スポーツのほか、レクリエーションとして行われるものも含む。」

スポーツとは



競技



遊戯



娯楽



レクリエーション

スポーツとは

ルールのある遊び = スポーツ

勝ち負けがある
競争がある

自ら行うもの
楽しいこと

スポーツとは

スポーツとはルールのある遊び

日常生活から離れ、**自ら楽しむもの**で、
強制されて行うのではなく**自らが判断して行う**ということ。

スポーツとは、身近で手軽に参加することができるもの。

欧米ではチェスやビリヤードもスポーツ



eスポーツ (e-sports)

「エレクトロニック・スポーツ」の略

コンピューターゲーム、ビデオゲームを
使った対戦をスポーツ競技としている

スポーツとは

ルールのある遊び = スポーツ

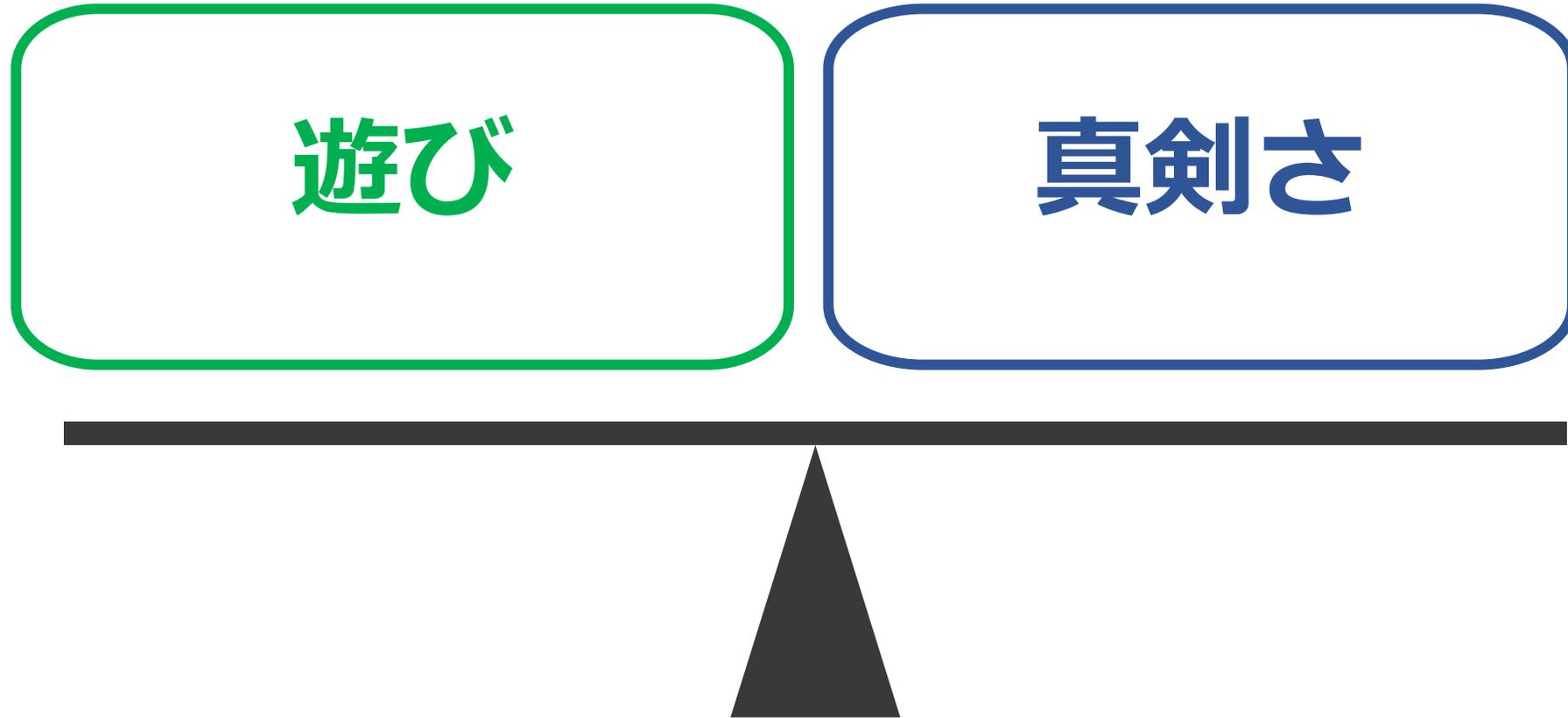
勝ち負けがある
競争がある

自ら行うもの
楽しいこと



勝利を目指して、真剣に遊ぶこと

スポーツとは



「遊び」と「真剣さ」のバランスによって成り立つ。

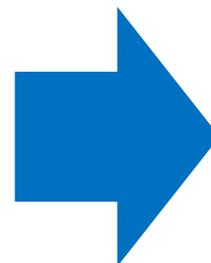
スポーツとは

スポーツ = 体育 ではない

「スポーツ = sport」

「体育 = P.E. (physical education)」

スポーツと体育は違う



スポーツと体育は何が違うのでしょうか？

スポーツと体育の違い

スポーツ

体育

遊び・楽しみ・余暇

目的

心身鍛錬・集団教育・軍隊教育

自発的で、命令されない

方法

強制的で、命令される

選手

主導権

指導者

サポートする

指導者の役割

指示・命令する

スポーツには相手はいるが敵はいない

スポーツとは

スポーツは、日本人の感覚では、競技のことを言い、娯楽やレクリエーションといった感覚は少ない。

ましてや、テレビゲームをスポーツと捉える人は少ない。

日常生活の労働から離れることを意味していたことから、**自ら楽しむもの**で、強制されて行うのではなく**自らが判断して行う**

このことから、スポーツと体育は、違うということが理解できる。

本来、スポーツとは、難しいものではなく、**「遊び」と「真剣さ」のバランス**によって成り立つ、身近で手軽に参加することができるもの。

ご存知ですか？

ティンバースポーツ



スポーツとは

ルールのある遊び = スポーツ

勝ち負けがある
競争がある

自ら行うもの
楽しいこと



勝利を目指して、真剣に遊ぶこと

スポーツパーソンシップとは？

スポーツパーソンシップとは

スポーツをする上での心構え



当協会理事

**元千葉ロッテマリーンズ
荻野忠寛の実家のトイレには！**

スポーツ宣言

スポーツマンの義務

- ① スポーツマンは完全な忠誠をもってルール^の条文とその精神に従わなければならない。どんな状況においても公衆^に対し正しい態度を保持しなければならない。
- ② スポーツマンは競技の前後、最中において相手および審判を尊重しなければならない。
- ③ スポーツマンは常に自制を保ち、自己の冷静さと尊厳を保持しなければならない。勝利のために最善を尽くすが、敗北に伴う落胆を避け、勝利に伴う放漫を諫める。スポーツマンの得る報酬は、努力から生まれる喜びと充実している存在の感情である。

《 フェアプレイの理念のないところに真のスポーツはない》

スポーツ精神 (スポーツマンシップ)

- ① 感情の抑制
- ② 相手に対する思いやり
- ③ フェアプレイ

スポーツパーソンシップとは

- スポーツパーソンは完全な忠誠をもって
ルールの条文とその精神に従わなければならない。
- どんな状況においても公衆に対し正しい態度を保持しなければならない。
- スポーツパーソンは競技の前後、最中において、相手、および審判を尊重しなければならない。
- スポーツパーソンは常に自制を保ち、自己の冷静さと尊厳を保持しなくてはならない。
勝利のために最善を尽くすが、敗北に伴う落胆を避け、勝利に伴う放漫を諫める。
- スポーツパーソンの得る報酬は、努力から生まれる喜びと
充実している存在の感情である。

スポーツパーソンシップとは

「どんな状況においても」
「競技の前後、最中において」
「常に」



生きている間、常に！



ルールを守り、
スポーツパーソンシップに従う。

自制を保ち、
自己の冷静さと尊厳を
保持する。

相手、および審判を
尊重する。

全力で勝利を目指す「**勝っておごらず、負けて腐らず**」を忘れない！！

努力から生まれる喜びと充実している存在の感情を得る。

スポーツパーソンシップとは

スポーツパーソンシップ

```
graph TD; A[スポーツパーソンシップ] --- B[感情の抑制]; A --- C[相手に対する思いやり]; A --- D[フェアプレー]; A --- E[卓越性の追求];
```

感情の抑制

相手に対する
思いやり

フェアプレー

卓越性の追求

感情の抑制

スポーツパーソンシップ

```
graph TD; A[スポーツパーソンシップ] --- B[感情の抑制]; A --- C[相手に対する思いやり]; A --- D[フェアプレー]; A --- E[卓越性の追求];
```

感情の抑制

相手に対する
思いやり

フェアプレー

卓越性の追求

感情の抑制

- どんな状況においても
自分自身をコントロールして、冷静に物事を見る。
- 勝ちや成功におごらず、
また、負けてふてくされたり、落胆することなく 次に備える。
- 負けた時、自分の感情を抑えて、相手の勝利や成功をたたえ、
それに負けないように自分が努力する。



相手に対する思いやり

スポーツパーソンシップ

```
graph TD; A[スポーツパーソンシップ] --- B[感情の抑制]; A --- C[相手に対する思いやり]; A --- D[フェアプレー]; A --- E[卓越性の追求];
```

感情の抑制

相手に対する
思いやり

フェアプレー

卓越性の追求

相手に対する思いやり

- 相手の素晴らしかったプレーを評価し敬意を持つ。
- 自分たちがやられて気分が悪いと感じることは相手にもしない。
- 相手あってのスポーツなので、相手に気分よくプレーしてもらい、それでも負けないぞという気持ちでお互いに勝つために全力でプレーする。
- プレーヤー、審判、観衆、など、ゲームに関わるみんなでいい試合を作っていく。



相手に対する思いやり

スポーツパーソンシップ

```
graph TD; A[スポーツパーソンシップ] --- B[感情の抑制]; A --- C[相手に対する思いやり]; A --- D[フェアプレー]; A --- E[卓越性の追求];
```

感情の抑制

相手に対する
思いやり

フェアプレー

卓越性の追求

フェアプレー

- プレーヤー（味方と相手）、ルール、審判を尊重し全力を尽くす。
- スポーツにルールができたのは、暴力をなくすことや、相手と条件を同じにするためや、ルールを作ることにより難易度を上げ、より楽しめるようにするため。
- ルールを守ることで、より良い試合ができるようになる。そのルールを運用し試合を円滑に進めるサポートをするのが審判。



相手に対する思いやり

スポーツパーソンシップ

```
graph TD; A[スポーツパーソンシップ] --- B[感情の抑制]; A --- C[相手に対する思いやり]; A --- D[フェアプレー]; A --- E[卓越性の追求];
```

感情の抑制

相手に対する
思いやり

フェアプレー

卓越性の追求

卓越性 = より高いところを求め続ける心と行動

- 対戦相手同士が同意したルールのもとで、選手が**互い**に最善を尽くし、卓越性を**相互**に追求すること。
- 卓越性を追求し、**互い**のパフォーマンスの向上、上達を目指す。

スポーツパーソンシップとは

スポーツパーソンシップ

```
graph TD; A[スポーツパーソンシップ] --- B[感情の抑制]; A --- C[相手に対する思いやり]; A --- D[フェアプレー]; A --- E[卓越性の追求];
```

感情の抑制

相手に対する
思いやり

フェアプレー

卓越性の追求

スポーツをするとは

スポーツに**大切なものを尊重**し、自らが判断するという
ことは、スポーツをする上で求められる最も基本的な要素。

- ・ 強制されて行うのではなく、
自らの判断で行い、スポーツパーソンシップを守り、
自由にプレーを想像する。

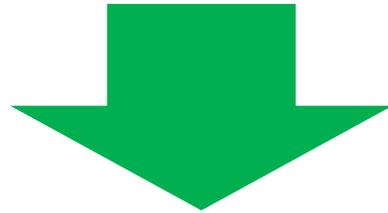
《フェアプレーの理念のないところに真のスポーツはない》

スポーツパーソンシップ（スポーツ精神）

- ・ **感情の抑制**
- ・ **相手に対する思いやり**
- ・ **フェアプレー**

スポーツの持つ意味

成果や結果ではなく、
勝利や成功を目指して努力する過程こそが
スポーツの重要な意味を持つ。



努力から生まれる喜びと充実している存在の感情を得る。

勝利や成功を目指し、全力を尽くし競い合うことにより多くの価値が得られる。
勝ちや成功におごらず、また、負けて腐らず次に備えなければいけない。

勝ちや成功を目指して努力することが大切

スポーツパーソンシップから
生まれる3つのGOOD！

3つのGOOD

GOOD GAME (良い試合)

お互いで全力を尽くして
最高の試合をしようという気持ち・態度

GOOD WINNER (良き勝者)

喜びを爆発させるだけでなく、悔しい気持ちをしている敗戦相手を思いやる気持ち・態度。
うかれるわけではなく、勝っても満足することなく、反省・改善・成長する気持ち・態度

GOOD LOSER (良き敗者)

素直に負けを認め、相手を称える気持ち・態度。
負けても落ち込むことなく、反省・改善・成長する気持ち・態度。言い訳しない、誰かを責めない。

スポーツパーソンシップを持ち合わせている人の振る舞い

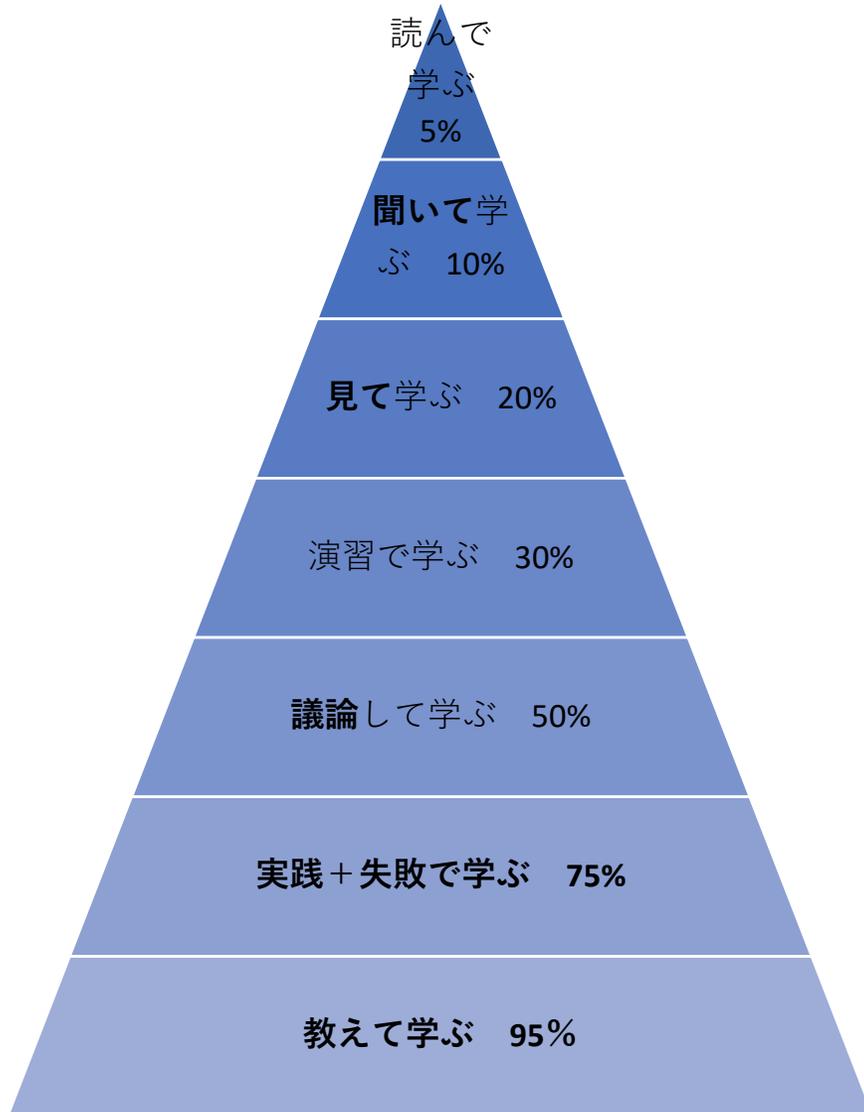
Good Loser (良き敗者)

スポーツパーソンシップの中の重要な概念

good loser = 良き敗者

思い通りにならなかつた時こそ、**尊重の気持ち**が、**より試される**。

そのためには、
常に**自制を保ち**、自分の**言葉**、**態度**、**表情**を
コントロールしなくてはならない。



教えること 失敗すること

の2つが人間を最も成長させる方法。
たくさんの良い失敗をすること、
他者に教えることで**誰よりも成長
するのは本人。**

出典：learning pyramid national training laboratories

満足と言いつは進歩の敵
もうダメだではなく、まだダメだ！

野村克也監督

まとめ

スポーツパーソンシップを育む

スポーツパーソンシップとは、

スポーツの本質であり、スポーツの価値そのもの

技術や肉体同様に、
スポーツパーソンシップも
スポーツを通じて少しずつ身につけていく。

- その競技の歴史的な成り立ち、伝統を学び、理解した上で、その競技自体を尊重する心を持つ。
- 弱いものいじめせず、フェアプレーを貫き、立派な行いをし、全力で戦いながら寛容さと遊び心を忘れない。

スポーツをする上での、心構えが

「スポーツパーソンシップ」

スポーツパーソンシップを守りながら
自由にプレーを創造するのが

「スポーツ」

問題が起きればルールを作るという考えが多くあるが、
スポーツパーソンシップの意義と価値を理解することが
ルールを作るよりも、大切で本質的である。

まとめ

スポーツパーソンシップとは、

優れた人格を
身に付けるための心構え



スポーツを通じて
少しずつ身に付ける
人格的な総合力

